

縁をつなぎ 安心をどこにかけるお寺

清元院だより

第27号

【掃き清める】は

住職になって十一年。お寺のまわりが杉苔（すぎごけ）でいっぱいになるよう手入れをしてきました。よく育つようにいつもきれいに掃き掃除をしています。

庭がきれいになると心もすっきりします。掃除は心をきれいにして幸せに生きるための大切な行い・修行です。

※落ち葉の季節は、充電式ブロア（送風機）の力も借りながら…



誌上法話

以西ふるさとめぐり⑬

活動紹介⑪

声

イベント情報・お知らせ

発行：曹洞宗大梁山清元院 住職 井上英之
佛歴二五六八年 令和七年十一月十五日

誌上法話⑯

菩薩行は生きる道

本堂の外でござることをした。私は窓を開けて「いつもあります」とお礼を言いました。

お礼の相手は、いつもお花さん（仮名）です。本堂の外には大きなゴミ箱があり、そこに生け花のゴミや枯れた仏様のお花などが入っています。そのゴミを自主的に片付けに来てくださるのが和子さんです。

そのゴミは、暑い夏になると枯れたお花の強烈な臭いがします。ゴミの量も結構なのです。でも和子さんは軽トラックにゴミを積んで、少し離れたゴミ捨て場に捨てて、ゴミ箱を丁寧に洗つて元に戻してくださいます。時にはゴミ捨て場の草刈りまでしてくださることもあります。結構な重労働ですがいつも笑顔で作業をしておられます。

実はそれ以外にも和子さんは、高齢の方がお寺においでになる際の車での送迎など、誰に頼まれた訳でもなくクルクルと忙しく人のお世話を勵んでおられます。

（よ）いことをたくさんする。みんなのためになることをする』って。大事なことだなあって思つてそうしとるだが」との返事でした。私が重ねて「人のためになることをした。私が重ねて「人のためになるなんですか?」と尋ねるらどんな気持ちになるんですか?」と尋ねると「楽しいはちょっと違うなあ。あつ、幸せなりがとうござります」とお礼を言いました。

そんな和子さんを見ていると私は「菩薩行」という言葉がいつも頭に浮かんできます。菩薩行とは「自分のことは後回しにしてでも、みんなに幸せになつて欲しい、安心して欲しいと願い・行う生き方」のことです。

和子さん自身は「人の役に立つ生き方をしよう。自分のことは後回しだ」なんて思つておられません。ただ目の前にゴミがあるから捨てる、困つている人がいるから車で送る、ただそれだけのことなのです。見返りを求めず、人の為にただただ行うこと、それが和子さんの生き方です。

清元院に相談に来られる人は、効率や時間短縮が求められる社会の中でも心が疲れ自分で精一杯という方も多くいらっしゃいます。人の為にという思いはあつても余裕がなくて行動に移すことは難しいのが現実かもしれません。

そんな現代の暮らしの中であつても、誰かに優しく微笑む、ありがとうを言葉にする、元気がない人の横に優しい気持ちで座る…こうした小さな菩薩行の積み重ねが「幸せに生きる」ことに繋がっているのだと和子さんの生き方が教えてくれていると思うのです。どうぞ皆さん、一つずつ小さな菩薩行を積み重ねてみませんか。きっと幸せに生きる道が見えてくるはずです。

大父神社の隣にある真っ赤な屋根のこじんまりした社が荒神社です。正面奥の扉上部には大変貴重で珍しい、田植え風景の彫刻。五月五日の田植祭に由来するのかもしれません。裏側は横いっぱいに葉を広げた蕪（かぶ）。よく見ると二匹の可愛らしいネズミが彫られています。裏の柱は兔の体に見立ててあり、遊び心いっぱいです。

その他にも双龍・麒麟・鳳凰・獅子・狛（ばく）・蓮・牡丹・波に兎・蓑龜（みのかめ）など、小さな社に豪華な彫刻が所狭しと並んでいます。一見の価値のあるお社です。

ぜひ一度訪れてみてください。





豪華な彫刻の宝庫



以西ふるさとめぐり⑩ ~大父部落~「荒神社(こうじんじゃ)」

活動紹介⑪

清元院 除夜の鐘ナイト 2025.12.31

一年分の迷いも、後悔も、
言葉にできなかった気持ちも。
一打、一打、50 年以上続く
鐘の音にゆだねて



◆0:00～
【新年 祈りの時間】(清元院 本堂)
・新年ご祈祷
・住職の新年法話
・お守り・お札の授与



◆0:30～
【祈りを終えた後は】
・お正月のお雑煮の振る舞いで、
あたらしい一年のはじまりを。



静かで、
あたたかくて、
少しだけ特別な年越し。
今年は、
「鐘の音」で新年を
迎えませんか。

❖私が和尚さんの言葉に共感したのは、「応援の力って本当にすごい」ということです。元気づけられるしがんばれる魔法の言葉だと思います。クラスのみんなに寄り添つたり応援できたりするクラスになつて、幸せに生活していきたいです。(ゲストティーチャー授業児童)

(死の体験旅行参加者)

❖途中から、大好きだった亡くなつた父の心境になりながら体験し涙しました。これから生き方で大切なものが分かりました。人生の終わりが来るまで、たくさんの経験と感動を積み重ねたいと思います。

(講演会参加者)

❖貴重なお話を聞かせて頂き、ありがとうございました。日々の中で辛い事も多々あります、相手を受け入れる、よりその事の大切さを改めて感じました。毎日一回全力でにっこりして「ありがとうございます」を私も実践したいと思います。

声こえ

お知らせ&Events

清元院だより 04

2/15 涅槃会法要へどりつぞ

■2月15日(日)10時から

お釈迦さまの命日です。お釈迦さまの残してくださった教えに感謝し、自分の生き方を振り返る日です。30分ほどで終わります。梅花講のご詠歌も聞けます。どなたでもお気軽にいでください。

■演題「放送こぼれ話」
※相撲解説でおなじみの元NHKアナウンサー藤澤武さんに、中継の経験談や相撲観戦・力士情報など楽しくお話しいただきます。
ちょうど春場所中です！



3/14 大般若法要と 大相撲講演会

■3月14日(土)10時から

「大般若法要」を行います。大般若経の功德と秋葉さんの力で、檀家や信徒のみなさんの安心と健康・諸願成就を祈祷する法要です。

■法要終了後11時から「大相撲講演会」
■講師 元NHKアナウンサー

藤澤 武さん

3/22 お地蔵様作り教室

大人気のイベントです。2部に分けて本堂をゆったり使って行います。

■3月22日(日)

午前の部 9時半～

午後の部 13時半～

各先着20名限定

参加費
一人2500円



3/29 はすとも 大募集

■3月29日(日)午後1時半から

桜の花が咲く頃、ハスの蓮根を植え替えます。全部で50鉢ですので、住職一人では大変です。

そこで蓮友(はすとも)を募集し、みなさんと一緒に蓮を植え、育て、花を楽しみたいと思います。お手伝いいただけた方には、花用蓮根をおすそ分けします。

みなさん「はすとも」に参加して蓮を楽しみませんか！
(※汚れてもよい服装で)

◆令和八年 年回表	
一周忌	令和七年
三回忌	令和六年
七回忌	令和二年
十三回忌	令和一年
十七回忌	平成二十六年
二十五回忌	平成二十二年
三十三回忌	平成十四年
五十回忌	平成六年
昭和五十二年	昭和五十二年

◆四月までの行事予定

◇1月1～3日 三朝祈願

◇2月15日 涅槃会 10時

◇3月14日 大般若法要 10時

◇3月20日 彼岸会先祖供養

◇3月22日 お地蔵様作り教室

※①午前9時半 ②午後1時半

◇3月29日 蓮の植え替え

◇4月5日 花まつり
(午前10時)

◇4月29日 花まつり
(午後1時半)



清元院

〒689-2522 鳥取県東伯郡琴浦町宮木57

TEL 090-4923-8768 fax 0858-55-7064

メール inotera1@gmail.com



公式 HP



公式 LINE



Instagram



Facebook